

紀要投稿規程

(平成14年2月25日改定)

1. 藍野学院紀要は、本学および本学の関連施設などにおける研究成果発表を目的として、定期的に刊行する。
 2. 投稿者ならびに共著者は次のものとする。
 - 1) 藍野学院教員
 - 2) 藍野学院卒業生
 - 3) 恒昭会関連病院職員
 - 4) 編集委員会の認めたもの
 3. 論文の種類は総説、原著(短報を含む)および報告(調査、症例、事例など)とする。但し、内容は他の雑誌に未掲載のものとする。
 - 1) 総説は編集委員会の依頼によるものとする。
 - 2) 原著は明確な構想に基づき、研究をまとめて、一定の結論を与えたものとする。短報は原著と同じ性格であるが、研究完成前に速報的に報告するものとする。
 - 3) 報告では新しい解釈を与え、理論を組み立てたものとする。
 4. 原稿の分量および形式は原則として次のとおりとする。
 - 1) 原稿は和文または英文とする。和文はA4版ワープロ用紙(40字×40行)を使用し、横書きとする。英文の場合はタイプ用紙(A4版)にダブルスペースでタイプする。
 - 2) 原稿の長さは原則として下記を限度とする(いずれも図表、写真を含む)。
 - ① 総説、原著(調査報告を含む):和文は15枚以内、英文は10枚以内とする。
 - ② 短報:和文は10枚以内、英文は8枚以内とする。
 - 3) 原稿には和英別紙の表紙を付し、それぞれに次の事項を記載する。表題(和英)、著者名(和、ローマ字)、所属機関(和英)、ランニングタイトル(和文20字以内、英文7語以内)、キーワード(和英とも5語以内)、連絡先および別刷希望部数を付記する。
 5. 原稿の内容、配列は原則として以下のようにする。
 - 1) 原著論文(報告を含む)
 - ① 表紙
 - ② 英文要旨(300語以内)および和文要旨(400字以内)
 - ③ はじめに
 - ④ 対象と方法
 - ⑤ 結果
 - ⑥ 考察
 - ⑦ 謝辞
 - ⑧ 助成金に関する記述
 - ⑨ 文献
 - 2) 総説、短報はこの内容、配列によらなくてもよい。但し、短報の場合は本文の前に英文要旨(300語以内)、和文要旨(400字以内)をつける。
 - 3) 図表については以下のようにする。
 - ① 図表あるいは写真は1枚ずつ別葉とし、それぞれ一連番号を記入のうえ、本文末尾にまとめる。
 - ② 図表あるいは写真の説明は本文末尾に別紙としてまとめる。
 - ③ 図表あるいは写真はなるべく原寸大とし、明瞭でそのまま印刷できるものとする。
 - 4) 年号は西暦を使用し、外国語、外国名、地名は原語もしくはカタカナ(最初は原綴りを併記すること)で書くこと。略語は本文の最初に出たところでスペルアウトする。
 - 5) 学名はイタリック体を用いるか、アンダーラインで明示する。単位、数量はSIユニットを用い、数字はアラビア数字を用いる。
 - 6) 引用文献は以下のようにする。
 - ① 本文中に引用の場合は次のようにする。
(例):小島道代ら(1994)…、あるいは…(小島道代ら、1994)…。
 - ② 引用文献は本文末に“引用文献”として一括し、アルファベット順に配列し次の形式とする。なお雑誌名には略記を用い、医学中央雑誌、Index MedicusおよびINI(International Nursing Index)に従う。
- A. 雑誌の場合
全著者氏名:表題. 雑誌名 巻(号):初頁-終頁, 西暦年次
例1) 小島道代, 外崎明子, 秋山照男:感染に関する看護研究-今後5年間の課題-. 看護研究27(4):2-9, 1994
例2) Ayliffe, G. A., Collins, B. J., Jowbury, E. J. L.: Ward floors and surface as reservoirs of hospital infection. J. Hyg. 65: 515-536, 1967
- B. 単行本の場合
全著者氏名:表題. 書名(編者氏名), 発行社名, 頁, 西暦年次
例1) 森広愛, 斉藤憲:神経・筋疾患. コメディカルのための内科学(森広愛編), 医学出版, 344-421頁, 1994
例2) McGhee, J. R., Mestecky, J.: The mucosal immune system in HIV infection and prospect for mucosal immunity to AIDS. AIDS Res. Rev., 2, Marcel Dekker, Inc. New York, pp. 289-312, 1992
6. 原稿提出
原稿(表紙、本文、図表、写真など)およびコピー1部(計2部)を提出する。審査後の最終原稿提出の際には、ワードプロセッサ使用の場合は同じ内容の3.5インチフロッピーディスク(MS-DOSテキストファイル形式にて保存したもの、機種等を明記のこと)を添付して提出する。
 7. 投稿原稿の採否、掲載順序、印刷方法、体裁は編集委員会において決定する。
 8. 著者校正は原則として再校までとし、新たな追加あるいは変更は認めない。
 9. 別刷20部までは無料とし、これを超過する分の経費は著者負担とする。
 10. 掲載論文の著作権は、学校法人藍野学院に帰属する。
 11. 原稿送付先
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4丁目5番4号
藍野学院短期大学図書館内
紀要編集委員会宛
TEL 072-627-1711(内線410)